

今年にはSAGA2024国スポ・全障スポが開催される記念すべき年。多久市では弓道とスポーツクライミングの2競技を行い、国内最大のスポーツの祭典を盛り上げていきます。

新春鼎談と題した今回は、多久市緑が丘弓道場で、佐賀県弓道連盟の田原則夫会長と佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟の宮原敏明会長、横尾俊彦市長が国スポ成功に向けての道のりや期待を語り合いました。

市長 皆様、新年おめでとうございます。今年には遂にSAGA2024国スポ・全障スポ開催の年ですね。この鼎談を皮切りに、一緒に盛り上げていきましょう！本日はよろしく願います。

田原 あけましておめでとうございます。今日は新設していただいた多久市緑が丘弓道場での鼎談ということで楽しみにしておりました。どうぞよろしく願います。

宮原 新年おめでとうございます。初めて緑が丘弓道場へ来ましたが、広々としていて立派ですね。多久高校に九州クライミングベースSAGAも新設され、国スポへの期待が高まります。こちらこそよろしく願います。

注目の2競技が 多久市で開催

市長 多久市が舞台となる両競技は、どちらもユニークで多久市らしいものだと感じています。例えば弓道では、孔子の教えをもとにした「禮記射義」の精神を大切にされていますよね。

田原 そうですね。弓道は、射は人柄・人格を表すと説いた「禮記射義」を軸とし、基本動作の「射法八節」に則って矢を射るスポーツです。28メートル先の的を狙う近的と、60メートル先の的を狙う遠的の2種目があります。

市長 人の道育てるという意味でも重要な、伝統あるスポーツだと思います。他方、スポーツクライミングは新しいスポーツ。20年ほど前にクライミングウォールを多久高校へ設置する際に奔走しましたが、完成以来目覚ましい進歩を遂げ、近年は特に地元の若い選手が活躍されていますよね。

宮原 おかげさまで多久高校のクライミングウォールでは多くの選手が練習し、成長してきました。

SAGA2024 開催の年を迎えて

